

特殊感覚系（耳鼻咽喉科）〈D14〉

オーガナイザー

耳鼻咽喉科 杉田 玄

I 一般学習目標

感覚器に問題を抱える患者の病態を一般医として適切に把握し、診断・治療ができるようになるために耳鼻咽喉科・頭頸部外科学を理解し、診断・治療上の問題解決能力を身につける。

II 個別学習目標

- 2 急性中耳炎の難治化の病態を説明できる。
上気道感染症の起病因菌およびその治療選択につき説明できる。
- 3 扁桃疾患の病態を理解し、免疫臓器としての扁桃を説明できる。
口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術の適応を判定できる。
睡眠時無呼吸症候群の病態を理解し、診断と治療につき説明できる。
- 5 鼻アレルギーの発症機序を理解し、免疫療法、抗アレルギー薬治療の説明ができる。
鼻出血の原因と治療法を説明できる。
急性鼻副鼻腔炎の病態を理解し、治療法の選択ができる。
- 7 難聴の原因を説明し、その外科治療につき説明ができる。
末梢性顔面神経麻痺の原因、障害部位、治療法につき説明ができる。
- 9 人工内耳の適応や手術法が説明できる。
嚥下障害のリハビリテーションおよび手術治療の説明ができる。
- 11 耳下腺腫瘍、顎下腺腫瘍の鑑別ができ、手術法につき説明ができる。
頸部良性腫瘍の鑑別診断ができる。
- 12 頭頸部癌の病態を理解し、治療法の選択ができる。
再建手術後の機能障害およびそれについての対応につき説明ができる。
- 14 甲状腺腫瘍の鑑別疾患ができ、手術の選択ができる。
- 16 平衡覚の生理を理解するとともに、めまい疾患を鑑別し治療選択ができる。

III 講義項目と担当者

1.	総論	耳鼻咽喉科	保富
2.	感染症	耳鼻咽喉科	保富
3.	咽頭、喉頭疾患	耳鼻咽喉科	杉田
4.	〃	耳鼻咽喉科	杉田
5.	鼻・副鼻腔疾患	耳鼻咽喉科	武田
6.	〃	耳鼻咽喉科	武田
7.	中耳疾患、顔面神経	耳鼻咽喉科	榎本
8.	〃	耳鼻咽喉科	榎本
9.	感覚器・機能外科（聴覚、嚥下	耳鼻咽喉科	グンデウズ
10.	〃	耳鼻咽喉科	グンデウズ
11.	唾液腺、頸部疾患	耳鼻咽喉科	杉田
12.	頭頸部癌	耳鼻咽喉科	保富
13.	〃	耳鼻咽喉科	保富
14.	甲状腺疾患	耳鼻咽喉科	平岡
15.	〃	耳鼻咽喉科	平岡
16.	めまい	耳鼻咽喉科	大谷
17.	〃	耳鼻咽喉科	大谷
18.	TBL	耳鼻咽喉科	保富
19.	〃	耳鼻咽喉科	保富

原則日程表に基づき行うが、内容は変更する場合がある。

IV 推薦参考書

新耳鼻咽喉科：切替一郎著 南山堂

V 評価方法

授業への出席が 2/3 に満たない場合は、定期試験受験を認めない。

科目の評価は講義および実習への出席（10%）、発表・レポート（20%）、定期試験の点数（70%）により行う。実習への積極性や態度も適宜評価を行う。

無断欠席など社会常識にそぐわないような態度がみられた場合、総得点の 10%以内の減点も行う。

講義日程表

特殊感覚(耳鼻)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	H30.4.10	(火)	1	総論	耳鼻咽喉科	保富
2	H30.4.11	(水)	3	感染症	耳鼻咽喉科	保富
3	H30.4.24	(火)	1	咽頭喉頭疾患：1	耳鼻咽喉科	杉田
4	H30.5.11	(金)	1	咽頭喉頭疾患：2	耳鼻咽喉科	杉田
5	H30.5.11	(金)	2	鼻副鼻腔疾患：1	耳鼻咽喉科	武田
6	H30.5.18	(金)	1	鼻副鼻腔疾患：2	耳鼻咽喉科	武田
7	H30.5.22	(火)	4	中耳疾患、顔面神経：1	耳鼻咽喉科	榎本
8	H30.5.22	(火)	5	中耳疾患、顔面神経：2	耳鼻咽喉科	榎本
9	H30.5.25	(金)	1	唾液腺、頸部疾患	耳鼻咽喉科	杉田
10	H30.5.29	(火)	4	感覚器、機能外科（聴覚、嚥下）：1	耳鼻咽喉科	グンデゥズ
11	H30.5.29	(火)	5	感覚器、機能外科（聴覚、嚥下）：2	耳鼻咽喉科	グンデゥズ
12	H30.6.1	(金)	1	頭頸部癌：1	耳鼻咽喉科	保富
13	H30.6.5	(火)	1	頭頸部癌：2	耳鼻咽喉科	保富
14	H30.6.8	(金)	1	甲状腺疾患：1	耳鼻咽喉科	平岡
15	H30.6.12	(火)	1	甲状腺疾患：2	耳鼻咽喉科	平岡
16	H30.6.15	(金)	1	めまい：1	耳鼻咽喉科	大谷
17	H29.6.19	(月)	1	めまい：2	耳鼻咽喉科	大谷
18	H30.6.22	(金)	1	特殊感覚系（耳鼻）TBL 1	耳鼻咽喉科	保富
19	H30.6.26	(火)	1	特殊感覚系（耳鼻）TBL 2	耳鼻咽喉科	保富